

小国町立病院外来診療体制

令和7年1月1日現在

診療科	午前 午後	受付	診察	診察室	月	火	水	木	金
内科	午前	8:00-11:30	9:00-12:00	一診	公立置賜総合 岡部(裕)6・20日 山形大 加藤(幹)27日	菊地(浩)	伊藤院長	菊地(浩)	伊藤院長
	午後	14:00-15:00	14:30-15:30	二診	菊地(浩)	山形大 槇(慶)	李(宇)	李(宇)	李(宇)
小児科	午前	8:00-11:30	9:00-12:00	一診	山形大 石黒(想)6日 浅井(優)20日 北岡(佳)27日	山形大 安孫子(優)7・21日 三條(右)14・28日	山形大 松木(惇)8・22日 栗野(裕)15・29日	山形大 佐藤(裕)9・23日 目黒(亨)16・30日	山形大 中村(和)10・24日 江口(誠)17・31日
	午後	13:30-14:30	13:30-15:00 (14:30まで待合室にお越しください)						
整形外科	午前	8:00-11:30	9:00-12:00	公立置賜総合 鈴木(瑛)				公立置賜総合 吉岡(大)	
眼科	午前	8:00-11:00 (当分の間)	10:00-13:00		山形大 富樫(敬) 当面の間受付 11:00 終				
耳鼻 いんこう科	午後	12:30-16:00	13:30-16:30 (16:00まで待合室にお越しください)	山形大 野内(雄)6・20日 渡邊(千)27日		山形大 後藤(崇)			山形大 千葉(真) 10・17・24日 金子(昌)31日

外科、産婦人科は休診中です。

診療科	午前 午後	受付	診察	月	火	水	木	金	土	日祝
歯科 (予約制) ☎62-2513	午前	10:00-12:30	10:00-13:00	休診	飯田 俊也	飯田 俊也	飯田 俊也	飯田 俊也	飯田 俊也	休診
	午後	14:00-17:30	14:00-18:00		新潟大 竹内(涼) 羽賀(健) ※交代制	新潟大 長谷部(大)	新潟大 新美(奏) 須田(大) ※交代制		飯田 俊也 (11日は休診)	

口腔外科の先生もおりますので、お口の中のことを全般にご相談ください。

※外来診療体制は変更になる場合がありますので、電話で問い合わせてください。

診療日変更等

小児科	1月10日(金)、2月7日(金) 午後休診(町の乳幼児健診)
歯科	1月11日(土) 休診

風邪症状で受診希望のかたへ

数日前から発熱、鼻汁、咳、のどの痛みなどかぜ症状のある患者さんについては、来院時間を調整させていただきますので、あわてず受診前に病院に電話で連絡をお願いいたします。

【時間外救急】

平日(月～金) 17:00～19:00
土日祝日 9:00～17:00

※1月10日(金)、2月7日(金)は夜間(19:00～翌9:00)も時間外救急を行っています。

※救急診療をご利用の場合、受診前に電話で連絡をお願いします。

山形県救急電話相談

毎日 18:00～翌8:00

15歳未満 #8000

ダイヤル回線/IP電話からは023-633-0299

15歳以上 #8500

ダイヤル回線/IP電話からは023-633-0799

新型コロナウイルスワクチン接種日変更について

1月から接種日が月曜日の午後のみ(15:30～接種)となります。(接種希望のかたは予約が必要です。)

小国町立病院

〒999-1356 西置賜郡小国町大字あけぼの一丁目1番地
http://www.ogunibyoin.jp/



小国町立病院

検索

☎.0238(61)1111 FAX.0238(61)1115

歯科直通 0238(62)2513

ほっと通信

小国町立病院

令和7年1月1日発行

第134号

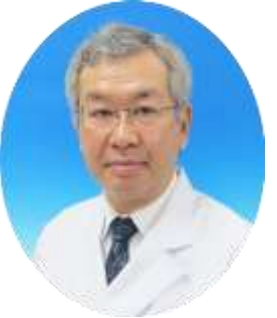
私たちは 地域の方々とともに歩み 医療を通して 安心のある地域づくりに貢献します

発行：小国町立病院情報管理委員会

令和七年 新年のあいさつ

新年あけましておめでとうございます。謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年3月に病院併設型小規模介護医療院を開設しましたが、本格稼働は令和7年度中を予定し、準備を進めている最中です。少子高齢化により人口もスタッフも減っていく中で、病院と老人保健施設「温身の郷」のスタッフが力を合わせて小国町の医療と介護を支えて参ります。



「町の方々と共に歩む」取り組みとして、昨年も「いやしの園見学会」、院長 伊藤 宏「地域医療懇談会」、「まちかど医療相談室」を開催しました。

「いやしの園見学会」では、病院、温身の郷、訪問看護ステーションの展示を行い、いやしの園の地域包括ケアの実際についてお伝えしました。病院で働く専門職の紹介を毎年行っておりますが、今回は薬剤師の仕事について子どもさんに話を聞いていただきました。専門職に興味をもって、次世代の病院を支えてくださる若いかたが出てきていただくことを期待しています。オープニングイベントでは、「Snow cherry」と「鼓友塾」の方々にパフォーマンスを披露していただき、たくさんの元気をもらいました。今年も新しい企画を準備し、たくさんの方々に癒しの園を見に来ていただきたいと思っております。ご期待ください。

「地域医療懇談会」は、毎年少しずつテーマを変えながら病院の現状についてご説明し、ご意見をいただく会としております。町内各界の方々に集まっていただき貴重なご提言を沢山いただいております。

ショッピングセンター「アスモ」で開催している「まちかど医療相談室」も毎週水曜日続けております。病院の多職種スタッフが参加し、様々な健康に関する情報発信を行い、専門職種としてご相談にもお答えしております。お時間ありましたらぜひおいでください。



町の方々に、病院の実際を「知っていただき」、「ご意見をいただき」そして「応援していただける」ような町立病院でありたいと思っております。

本年が皆様にとって佳き年となりますよう心からご祈念致しまして、私からの年頭のご挨拶とさせていただきます。どうかよろしくお願ひいたします。

まちかど医療相談室

予約不要
参加無料

心や体に関する相談を受け付けています。

■開催時間：毎週水曜日

13:30～15:00

■場所：アスモ ほっとコーナー

開催日	対応職員	お話しすること
1月8日	看護師	新しい認知症観について
15日		お休みします
22日	薬剤師	正しい目薬の差し方
29日	看護師	季節に合わせた健康管理
2月5日	看護師	ヒートショックって知ってる？

※看護師が毎回参加します。内容は変更になる場合があります。



散在した患者情報を集約するための取り組み ～療養情報ボードの導入～

病棟看護師 阿部 靖子 共同研究者: 青木美和 木村亜沙美 高橋ルリ子 伊藤 優 岩崎小春 三須千春 高橋素子 鈴木 光 伊藤 宏

11月30日(土)に山形市で山形県国保地域医療学会が開催されました。この学会は山形県の国民保険連合会などが主催しているもので、県内の国民健康保険診療施設の関係者が参集し、地域医療・ケアの実践の進むべき道を探求し、相互理解と研鑽を図ることを目的としているものです。

今回、当院を代表して病棟の阿部靖子看護師が研究発表し、最優秀賞を受賞しました。今月はその研究発表についてご紹介します。



阿部看護師



学会会場のホール全体

はじめに

患者さん：年齢や生活自立度も幅広く疾患も様々
病棟業務の特徴：交代勤務の看護師や多職種が関わる
情報共有やケアの統一が難しい環境

ケア…ここでは入院生活中に必要な看護及び介護の意味

課題

① ベッド周囲に情報が散在している



- ② 患者の状況を把握しにくい
- ③ ケアの統一が不十分
- ④ 繰り返されるヒヤリハット報告が多い
〔ヒヤリハット…事故につながるようなひやりとしたり、はっとしたりした事例〕

課題を解決するために

- ✓ **療養情報ボード**と命名したマグネットボード
- ✓ **ADLシート**などを導入してみる!

ADL(日常生活動作)…日常生活を送るために最低限必要な日常的な動作で「起居動作・移乗・移動・食事・更衣・排泄・入浴・整容」動作のこと

方法① 企画委員会の立ち上げ

令和5年4月、病棟看護師、リハビリ職員、医師で企画委員会を立ち上げ検討。進捗を運営調整会議、医療安全委員会、幹部会議などで報告。

方法② 療養情報ボードの設置

- ◇ 木目調マグネットボードをベッド頭側に設置
- ◇ 「療養情報ボード」と命名し掲示場所を統一



方法③ 情報の整理

ADLシートの作成

ケアに必要なADL項目を紙1枚に凝縮したシート

ADLシートの拡大画像

移動	
歩行	車椅子
自立・見守り・介助	自立・見守り・護送
独歩・一本杖	
四点杖・ビックアップ	
歩行器・ラビット	
はっぴー・押し車	

医療安全カードの作成

「医療看護支援ピクトグラム」を参考に、病棟向けに9項目作成

ピクトグラム…文字や言語に頼らず、絵や図で情報を伝えるための案内用図記号

作成した医療安全カードの一例



書式、様式、形式の統一

1. 掲示物を仕分け・分類
2. 書式の見直し
3. サイズ縮小
4. フィルム加工 (裏面に磁石貼付)

作成した各種カードの一例



方法④ 患者への説明



療養情報ボードにて情報共有することを入院案内に明記し患者さんに口頭説明。同意を得られた場合のみ使用。(同意によって掲示することを職員にも意識付け。)

結果

- ◇ ベッド周りに散在していた情報が**療養情報ボード**に集約、情報共有しやすくなった
- ◇ ADLシートにより、ADL状況の把握・ケアの統一が図りやすい状況に

考察

- ① 情報の集約・共有を可能にした要因
 - ◇ 情報の整理・簡潔化(書式・様式・形式を統一)
 - ◇ 情報掲示場所の固定
 - ② ADLシートの活用
 - ◇ ケア現場で患者の状況把握が可能
 - ◇ 多職種間でのADL状況共有を可能
- ケアの統一のしやすさにつながった

③最大の成果！＝職員の意識の変化

- ◇ 情報は療養情報ボードへ掲示
 - ◇ 情報は療養情報ボードから収集
- しかし、新たな課題も

課題＝医療安全への効果

情報共有・ケアの統一は医療安全に必須。取り組みを改良しつつ継続する必要あり。

今後もこの取り組みを継続し、「安心安全な、より良い療養環境を提供できる病院」を目指します！